

配布数	回収数	回収率
4	4	100.0%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
・体制	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 運動室、卓球室、書道室、おやつ部屋を設けており、その日の活動内容や子どもたちの状況により活動場所を使いわけています。 活動量や活動種目に応じて、地域の環境資源である、『高知県立障害者スポーツセンター』を第2の拠点として活動している。
	2 職員の配置数は適切であるか	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 適切な人員配置になるよう、活動内容によりサポーター登録制度を設置し、『医師・看護師、PT・OT、社会福祉士、保育士などを目指す学生さん』を雇用し共に学びながら支援をしています。また、サポーターとも支援の目的を情報共有できるよう関わっています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1	0	<ul style="list-style-type: none"> 障害特性に応じて、視覚支援等を心がけている。 2階へは階段のルートしかありませんが、必要に応じてハード面はマンパワーで介助(ソフト面)し、補っています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 気づいたことなどを情報共有し、タイムリーに振り返りをする様にしている。 子育て世代の職員が多いため、限られた時間の中で気付いたことを共有、振り返りをしています。支援の質を高められることと、満足度をあげられることを目標に取り組んでいます。 PDCAサイクルの組み替えを意識し、コロナ禍においても業務改善が疎かにならないよう意識している。また、状況や環境の変化に適応し続けるべく、PDCAサイクルに組み合わせて、ODAループを意識しています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの意見等を職員間で話し合い、今後のプログラム作成や、障害特性に応じた支援ができるように取り組んでいる。 いただいたご意見を耳を傾け、Uプロフェッショナルを選んで良かったと言ってもらえるよう、具体的な業務改善目標をたて実践しています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ホームページで公開しています。 ホームページ上で公開することをご家族に伝えてあります。またいただいたご意見をどのように業務改善へつなげていくか、業務整理を行い、アンケート協力へのお礼状と伴にお渡しする予定です。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 第三者による外部評価委員会の設置までには至っていませんが、学校や支援員さんの見学等は積極的に受け入れ、いただいたご意見やアドバイスを業務改善につなげるよう取り組んでいます。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 各々の研修を職員間で報告、共有している。(勉強している) 研修は業務調整し積極的に受講しています。 研修の資料を回覧したり、法人全体で行うミーティングで報告、共有を行っています。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 日頃の子どもたちや保護者のニーズ等を考え、子どもたちに合ったサービスを提供している。 アセスメント結果をスタッフで共有し、計画を検討します。誰か一人の考えに偏らず、多様性を大切に考えられることを意識しています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	0	4	0	<ul style="list-style-type: none"> 偏りなく子どもさんの状況を把握できるよう、今後標準化されたツールの情報収集を行い、必要に応じて使用したいと考えています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 文武両道を目指しており、職員で話し合い立案している。 学年がさまざままで、いろいろな状況の子どもたちがいます。皆が楽しみ、個人の目標に働きかけられるプログラムになるよう、スタッフで話し合っています。

支援	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> □ 固定化しないように創作・運動をそれぞれの利用日にできる様に工夫している。 □ 「楽しんで帰れること」「また来たいと思ってもらえること」を意識してプログラムを考えています。結果、固定化したものにはならず変化があります。 □ 『子どもたちから教わる』というキーワードを大切に、子どもたちがやりたい活動も積極的に取り入れています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> □ 平日・休日・長期休暇に応じたプログラムを考え、子どもたちの課題に取り組んでいる。 □ 平日か休日、長期休暇中かにより、また学年が変わる前か変わった後かなどにより子どもさんの状況や環境が変わります。状況の把握に努め、課題や目標を設定しています。 □ 休日や長期休暇については、子どもたちの生活リズムが崩れないよう、活動内容や活動時間を設定しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> □ 子どもの状況や課題に応じて、活動の内容を工夫している。活動場所を分け、活動を変えている。 □ 一人一人の課題や状況に応じて、個別と集団を分けて活動できるように、人員の配置や活動場所を検討しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> □ 毎回職員で徹底してその日の内容を確認している。 □ まず、翌週の全てのデイについて打ち合わせをする日を作っています。ここでは、大きな変化があった子はいないか、いればその対応はどうか。前の週の活動をふまえ改善点はないか。子どもたちの状況にあった活動になっているか。送迎時間の大幅な変更はないか、などを確認します。 活動日のミーティングではより細かなスタッフの動きの確認、子どもさん一人一人の目標に適した活動を提供できるようなスタッフの配置や関わり方、また送迎時間や場所に誤りがないかなどをスタッフ全員で確認します。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> □ 気づいた点等はすぐ職員間で共有し話し合いをしている。 □ 翌日に振り返り、良かった点は継続できるよう、また改善点があれば次は具体的にどうするか話し合っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			<ul style="list-style-type: none"> □ 気付いた点等は記録することを徹底し、プログラム等を改善し、その都度子どもにあった課題に取り組んでいる。 □ 効率よく適切な記録をとれるようシートを作成している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> □ 子どもたちの成長は早く、環境や課題は刻々と変わります。子どもたちの状況に応じた適切なサービスが提供できるよう、定期的に振り返りをしています。その結果、見直しが必要であればあらたに計画を練り直しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	1		<ul style="list-style-type: none"> □ スタッフ全員がガイドラインを理解し支援を提供できるよう努めています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> □ 児童発達支援管理責任者【ソーシャルワーカー】が出席しています。またケースに応じては、管理者もしくは児童指導員の参画も必要と考えています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			<ul style="list-style-type: none"> □ 平日に利用している子どもさんは、送迎時に学校の先生と小まめに情報交換をしています。行事ごとの前後は練習や疲れ、環境の変化でしんどさを感じる子どもさんもいるため、そういった情報も必要に応じて共有をしています。 また、土曜日に利用している子どもさんについても、状況に応じて保護者の同意を得たうえで情報の共有をしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4			<ul style="list-style-type: none"> □ 医療サービスを提供できるスタッフがいないため、現在は医療的ケアが必要な子どもさんをお受けできていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4			<ul style="list-style-type: none"> □ 必要に応じて情報共有を行っている。 □ 利用前に保育園や幼稚園へ行き、普段の活動の様子を見せていただいたり、先生から情報提供をいただいています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> □ 当事業所は開所して2年と日が浅く、卒業を迎える子どもさんがまだいない。今後必要に応じて適宜行う予定です。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			<ul style="list-style-type: none"> □ 県や発達障害者支援センター主催の研修へ参加しています。

保護	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4		<ul style="list-style-type: none"> □ イベントなどで活動する機会がある。 □ 今年度はコロナ禍でイベントが軒並み中止になりましたが、数回行えたイベントでは、障害のあるなしに関わらず参加できるものもあり、障害のない子どもと活動する機会となっています。今後はコロナの感染状況に注意し、感染対策を徹底したうえで交流イベントを随時開催する予定です。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> □ 今後機会があれば、積極的に参加していきたい。 □ まだ参加したことはありませんが、高知市のホームページ上で、自立支援協議会で話し合われたことなどについて閲覧しています。 □ 必要性を感じる機会があれば、積極的に連携していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4		<ul style="list-style-type: none"> □ 連絡帳、メール、ラインなどでも日頃の状況をお伝えし、必要な課題についてもお伝えしている。 □ 子どもさんのデイでの様子が伝わるよう、連絡帳へ記入したり送迎時に直接お伝えをしたりしています。また、創作や運動の様子を動画で見ていただくこともあります。今後、すべての保護者の方へ子どもさんのUプロでの様子を今以上に伝えられる方法【リモート配信等】を検討していきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4		<ul style="list-style-type: none"> □ 必要に応じて、支援等ができるように努めている。助言できるように努めている。 □ コロナ禍だったこともあり、ペアレント・トレーニングは行えていません。他事業所と共同で行う予定はあり、コロナの感染状況に応じて開催を検討します。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4		<ul style="list-style-type: none"> □ 運営規定や利用者負担については主に契約時にお伝えをしています。月額の利用料上限負担額が変化した方には適宜ご説明をさせていただいています。 □ 支援の内容は、主にモニタリング時にお伝えしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4		<ul style="list-style-type: none"> □ 相談等にも適切に応じ支援ができるように努めている。 □ 保護者からのお話を聞かせていただき、事業所でできる助言については行っています。より専門的な助言等が必要な場合については、相談支援員さんに相談するなど、適切な機関へつながることができるよう支援しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	<ul style="list-style-type: none"> □ 昨年はコロナでできていないが、今年は計画している。 □ 保護者会（パパプロ・ママプロ）は、今年度はコロナの影響で開催できていませんが、来年度も開催を予定、コロナの感染状況を見ながら開催方法を検討します。 □ イベント時に保護者同士でお話をする場面があり、今後こういった機会を作っていきたいと考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> □ 職員間でも共有し、子ども・保護者にも適切にすばやく対応するように努めている。 □ いただいた苦情には適切な対応ができるよう体制を作っています。 □ 苦情の前段階の、ささいなズレの段階で修正ができることを意識し、保護者の皆さまと密な情報交換ができるよう努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> □ 行事予定等、毎月発信している。 □ 毎月の予定をお配りしています。 □ また不定期で「なないろ」（デイの広報誌）を発行し、Uプロの活動を知ってもらう機会としています。
の設	35	個人情報に十分注意しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> □ 鍵のかかる書庫を設置し、大切な個人情報の漏洩がないよう管理しています。また、写真や動画撮影の使用許可を契約時に確認し、取扱いには法人内で細心の注意を払っています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4		<ul style="list-style-type: none"> □ 子どもに応じて視覚支援や分かりやすい言葉で対応している。 □ 一人ひとりの状況に合わせたコミュニケーションが取れるよう、お話のしかた、言葉の選び方、情報提供のしかたを工夫しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4		<ul style="list-style-type: none"> □ 本年度はコロナ禍であり、こういった行事はできていませんが、拠点施設を地域に開放し、卓球教室や書道教室などへは地域の皆さまにもご参加いただいています。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> □ マニュアルを作成し訓練等も定期的に行っている。 □ 職員間ではマニュアルの周知が来ています。しかし一方で、アンケート結果を拝見する限り、保護者の皆さまへの周知ができていないことが分かったため、アンケート調査協力のお礼状とともに、作成しているマニュアルを郵送いたします。

待等の	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4		<ul style="list-style-type: none"> □ 定期的に訓練を行っている。 □ 定期的な訓練では、いろいろな非常災害時を想定し、子どもたちが安全に避難できるようスタッフの動きを確認、訓練をしている。 □ 実際に地震（小さな揺れ）が発生した際に、避難（訓練）を行うことで、いつ南海トラフが発生しても、適応できるよう心がけています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4		<ul style="list-style-type: none"> □ どのようなことが虐待になるか、虐待につながるかなどを共有しています。また、職員間の風通しをよくすることや、主張と尊重を意識することで、支援に関して慣れあいにならないよう努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> □ 身体拘束をする場面はありませんが、そういった可能性のある子どもさんの利用があれば、身体拘束に関して職員間で共通認識ができるよう準備します。また、子どもさんや保護者へもご説明をします。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4		<ul style="list-style-type: none"> □ 職員間でも共有し、対応を徹底しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> □ 事業所内で作成し、安全管理を徹底してできるように努めている。 □ 自事業所のヒヤリハットだけでなく、法人内の事業所のヒヤリハットやアクシデント報告書も共有し、危機管理能力の向上及び安全管理ができるよう努めています。